

事業名：小中学校学習サポート事業

学校教育課 学校教育係

政策	05 豊かさと創造性を育む生涯学習環境の充実								
施策	01 子どもの可能性を伸ばす教育の充実								
基本事業	01 教育内容の充実								
開始年度	平成21年度	終了年度	—	実施計画 事業認定	非対象	会計区分	一般会計	補助金	

事務事業の目的と成果	
対象（誰、何に対して事業を行うのか）	
市内小中学校児童生徒	
手段（事務事業の内容、やり方）	
市内小中学校に学習サポート教員を派遣し、担当の教師と共に、授業中や長期休業中などの学習支援を行う。	
意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）	
児童の勉学意欲が向上し、確かな学力の定着を図る。	

指標・事業費の推移						
区分		単位	23年度実績	24年度実績	25年度実績	26年度当初
対象指標1	小中学校児童生徒数	人	10,042	9,722	9,441	9,274
対象指標2						
活動指標1	学習サポート教員の登録人数	人	38	35	39	39
活動指標2						
成果指標1	年間派遣人数	人	38	35	39	39
成果指標2						
事業費(A)		千円	6,036	8,133	8,175	9,317
正職員人件費(B)		千円	2,408	3,206	3,125	3,130
総事業費(A+B)		千円	8,444	11,339	11,300	12,447

	事業内容（主なもの）	費用内訳（主なもの）
25年度	<ul style="list-style-type: none"> 授業等の学習支援 長期休業期間（夏季及び冬季）の補充的な学習の支援 	<ul style="list-style-type: none"> 学校支援地域本部運営経費 1,737千円 学習サポート教員派遣費用 6,438千円

事業を取り巻く環境変化	
事業開始背景	
平成19、20年度の全国学力学習状況調査において、北海道が下から2番目という調査結果を受け、全道をあげて学力向上を目指しているところであるが、江別市においても、平成20年度江別市学校改善支援プランを作成し、その中で、江別市が学校に対する支援の一環として、児童・生徒の学力向上のためのボランティア等による授業サポート事業の実施を掲げた。	
事業を取り巻く環境変化	

平成25年度の実績による担当課の評価（平成26年度7月時点）	
(1) 税金を使って達成する目的（対象と意図）ですか？市の役割や守備範囲にあった目的ですか？	
<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 妥当性が低い	理由 根拠 児童・生徒の学力向上につながる。
(2) 上位の基本事業への貢献度は大きいですか？	
<input checked="" type="checkbox"/> 貢献度大きい <input type="checkbox"/> 貢献度ふつう <input type="checkbox"/> 貢献度小さい <input type="checkbox"/> 基礎的事務事業	理由 根拠 確かな学力の定着が求められており、授業中に一人ひとりの理解度に応じて指導することで、児童の学力向上につながる。
(3) 計画どおりに成果は上がっていますか？計画どおりに成果がでている理由、でていない理由は何ですか？	
<input checked="" type="checkbox"/> 上がっている <input type="checkbox"/> どちらかといえば上がっている <input type="checkbox"/> 上がらない	理由 根拠 ティームティーチングによる学習支援ができることで、目が行き届く指導ができるようになった。
(4) 成果が向上する余地（可能性）がありますか？その理由は何ですか？	
<input checked="" type="checkbox"/> 成果向上余地 大 <input type="checkbox"/> 成果向上余地 中 <input type="checkbox"/> 成果向上余地 小・なし	理由 根拠 学習サポート教員の登録者が増え、学校からの派遣希望の条件と合致すれば事業の拡大が見込める。
(5) 現状の成果を落とさずにコスト（予算+所要時間）を削減する方法はありますか？	
<input type="checkbox"/> ある <input checked="" type="checkbox"/> なし	理由 根拠 学校からの派遣希望が多い状況で、学習サポート教員の派遣日数を減らすことは難しい。